

63 天王寺七名水  
増井の清水（増井弁財天）

天王寺区伶人町5-35

- ▶ 上町台地の南部には良水の井戸が多く、増井の清水も七名水の一つで、天神坂の北側、興禅寺と清水寺にはさまれた屋敷の一角に古びた井戸の屋形が残されています。昭和45年(1970)、大阪市顕彰史跡に指定された増井の清水は、伶人町興禅寺の東側の増井弁財天の境内にあります。昔は、上下2段の水溜場があり、上は武家などに、下は一般町人に汲ませました。以前は酒を醸すのに適して合酒の清水ともいわれたそうですが、元井戸は、戦災で崩れ、残っているのは下方の井戸だけとなっています。



64 真田幸村戦死地跡（安居神社）

天王寺区逢阪1-3-24

- ▶ 元和元年(1615)、大坂夏の陣が起こり、真田幸村は少数の兵で徳川方の伊達政宗軍を破り、最後の一戦いに臨もうと徳川家康の本陣がある茶臼山を目指します。徳川勢は防戦になり、松平忠直軍は蹴散らされ、本多忠朝は討ち死にします。ついに徳川家康本陣の旗本は総崩れとなり、家康はわずかの家臣に守られながら退却します。一方、真田幸村勢も少数のため疲労が激しく、安居神社の境内で休息中、松平忠直の配下西尾久作の槍で不意をつかれ落命します。ここ安居神社から茶臼山まではわずかの距離ですので、徳川家康本陣から見ると大変あわてたに違いないと思います。大久保彦左衛門は後に「三方が原の戦い(若き徳川家康が武田信玄に大敗した戦)以来」と語ったそうです。幸村の命日にあたる5月7日は、毎年、安居神社にて幸村祭が行われています。





65

天王寺七名水

## 安井の清水(癩鎮めの井戸)跡

天王寺区逢阪1-3-24

- ▶ 「安居神社由緒略記」の説明板には次のような記載があります。

(前文省略)境内に古より、神鎮の井と称する清冽なる水涌出する井戸あり。

霊水として広く知られているが現在は四囲の状況に禍され、枯渇の状態にある。(以下省略)

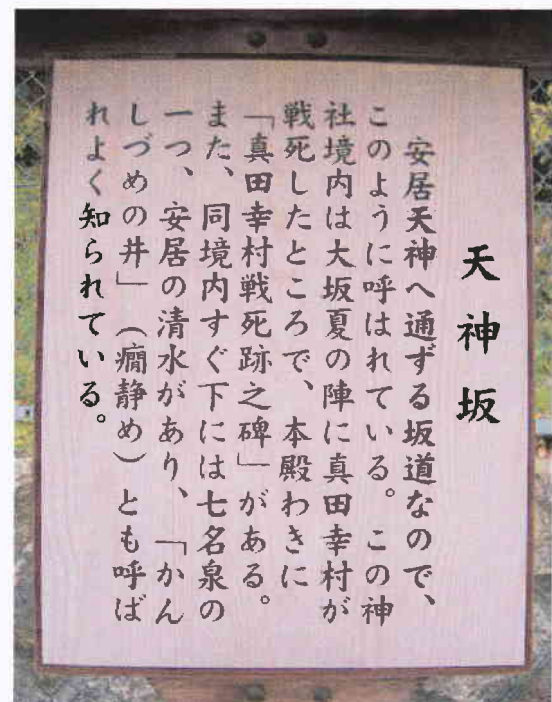
水は枯れていますが、湧き出していた頃は冷たい清水で、味がよく、飲ませれば幼児の癩の虫が治まったという伝説から「癩鎮めの井」という名がつけました。



## 66 天神坂

天王寺区伶人町1、逢阪1

- ▶ 天王寺区伶人町と逢阪一丁目との境界にある坂です。菅原道真をまつっている安居神社に通じる坂道なのでこのように呼ばれています。



## 67 逢坂

天王寺区逢阪1-3

- ▶ 逢坂は松屋町筋の終点で合法ヶ辻 から東へ上がり、四天王寺西門に至る坂道です。逢坂は、逢坂の関になぞらえてよんだものとも、他説では聖徳太子と物部守屋の二人が信じる方法を比べ合わせたと言われた「合法四会」(がっぼうがつじ)に近いことにより合坂(おうさか)と名付けられたなどの諸説があります。



## 68 大坂夏の陣 徳川家康陣所跡(一心寺) 天王寺区逢阪2丁目8-69

- ▶ 元和元年(1615)大坂夏の陣の際、一心寺は徳川家康の本陣となりました。真田幸村の激しい攻撃に遭い戦場の中心となり混乱した場所です。

## 69 戊辰の役 明治戊辰之役 東軍戦死者招魂碑(一心寺)

天王寺区逢阪2丁目8-69

- ▶ 戊辰戦争で戦死した徳川方の武士の魂を祀るもので、明治31年(1898)6月、在阪の旧幕臣の人たちによって建てられたものです。書は高橋泥舟によるものです。



碑の裏面





70 明治戊辰戦役 会津藩士墓所（一心寺） 天王寺区逢阪2丁目8-69

- ▶ 一心寺に白井五郎太夫ほか12名の会津藩士の墓があります。白井五郎太夫(胤忠)は、林 権助とともに会津藩砲術師範 山本覚馬から砲術を学びました。鳥羽・伏見の戦いに大砲隊頭として鳥羽街道を進み、勝ちに乗じて前進してくる西軍に対し、弾丸の下をくぐって戦い、別選隊の援助を得て西軍を撃退しました。翌日、白井は隊を率いて戦いましたが銃弾に当たって負傷、診療先の淀で死去します。享年37。一心寺にある白井五郎太夫の墓は、子の白井新太郎によって建立されました。白井五郎太夫のほかには、白井隊の小池勝吉、林 権助隊の高橋金兵衛、大本左門など鳥羽伏見の戦いで死者の墓碑があり、年々法要をされています。一心寺には多数の墓碑があるため、探すのに苦労すると思いますが、会津藩士の墓所は比較的わかりやすいところにあり、一心寺の正門に入って左手すぐのところにあります。



白井五郎太夫の墓



白井隊の小池勝吉の墓



林 権助隊の高橋金兵衛の墓



林 権助隊の大本左門の墓

71 天王寺七名水 玉出の水跡

天王寺区逢阪2-8-41

- ▶ 浄土宗の寺院が経営している「四恩学園」という施設の園前に、「玉出の水旧跡」と刻まれた碑が建っています。昭和28年(1953)頃までは清水が湧いていたようですが、近隣のビル工事により水が枯れてしまいました。

